令和二年 百周年記念公演

林定期能

初回

場所
京都観世会館

日時
令和二年二月二日(日)
十二時五十分開場／十二時半始

能演目
翁(おきな)
日觸詣(ひむれもうで)

林 宗一郎
林 宗一郎

とうとうたらりたらりら
たらりあがりらりとう

HAYASHI TEIKI NOH

主催　林定期能楽会　http://hayashiteikinoh.com

林定期能とは

「能」は美しい言葉と所作と舞によって進行する「幽玄」の世界。

室町時代、観阿弥・世阿弥らにより大成された能は、現在では五流派が存在しており、林家はそのうちの観世流の家になります。また、江戸時代より京都にて謡や能を伝えてきた「京観世五軒家」と呼ばれる家で唯一現存している家でもあります。

「林定期能」は林家とその同門により大正時代より始まった年間の定期公演で、令和二年、創立百年を迎えます。

幼少より訓練してきた能楽師たちの無駄を削ぎ落とした所作、装束・能面などにみられる芸術的な美、日本で育まれてきた調べ、人間の内面に深く踏み込むストーリー。

この「能」を是非、京都観世会館にて体験してみてください。

※能はユネスコ無形文化遺産に認定されています。

林定期能のご案内
INFORMATION

チケット料金と購入方法 / お問合せ

全館自由席。
[林定期能申込み]氏名・ご連絡先・公演日・チケット券種と枚数をお伝えください。

一般	前売	4,000円
	当日	4,500円
学生(学生証提示)		2,000円
トワイライトチケット(要予約)		2,000円

■林定期能楽会　電話 075-751-8158
FAX 075-751-8167

■ホームページ
「林定期能」にて検索→希望の公演を選ぶ→チケット予約をクリック
http://hayashiteikinoh.com

■京都観世会館　電話 075-771-6114

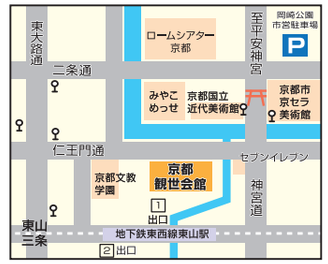
■各出演者へお問合せ

※チケットは公演当日、受付にて代金と引き換えにてお渡し致します。(現金のみ)
※トワイライトチケットは最終演目のみの観能チケットになっております。詳細はHPにてご確認頂きますようお願い致します。
※未就学児はお一人様まで無料、二人目以降は1,000円のお座席料がかかります。
※当日のチケット予約は、京都観世会館への電話予約のみとなっております。
※場内での録音、撮影および時計、携帯電話等のアラームはご遠慮ください。
※他のお客様の観能に妨げとなると判断した場合は、退席をお願いする場合がございます。

交通アクセス

京都観世会館　京都市左京区岡崎円勝寺町44

【交通アクセス】
●市バス5番、100番「岡崎公園 美術館・平安神宮前」、平安神宮大鳥居より南西に徒歩5分。
市バス31番、46番、201番、203番[東山仁王門]下車、東へ徒歩5分。
●地下鉄東西線「東山駅」下車、北に徒歩5分。
※駐車場あり(有料駐車場20台程度)



写真／能《翁》上杉遥　Stéphane Barbery　能《日觸詣》人見淳

令和二年　百周年記念公演

林定期能

初回

日　時
令和二年二月二日（日）
十一時五十分開場／十二時半始

翁

（能）

翁　林　宗一郎

面箱　茂山　竜正
三番三　茂山　逸平
千歳　味方　慧

（後見）　味方　玄
片山九郎右衛門

大鼓　河村　大
脇鼓　大倉伶士郎
頭取　大倉源次郎
脇鼓　吉阪　一郎

笛　杉　信太朗

（地謡）　佐竹　圓修
樹下　千慧
河村　和晃
橋本　忠樹

田茂井廣道
河村　晴久
河村　和重
味方　玄

――休憩二十分――

（仕舞）

高砂　片山九郎右衛門

（地謡）　河村　紀仁
河村浩太郎
河村　晴久
松野　浩行
田茂井廣和

（解説）
本日の演目について　河村　晴久

2:30頃

日觸詣

（能）

前ソレ（里女）　河村　晴道
後ソレ（呉織）　林　小梅
後ソレ（漢織）　林　彩子
シテ（里女 後に 八幡の神霊）　林　宗一郎
ワキツレ（随行者）　小林　努
ワキ（宇佐の神職）　有松　遼一
ワキツレ（随行者）　久馬　治彦

間　（所の者）　茂山　逸平

（後見）　樹下　千慧
河村　和重
河村　晴久

大鼓　石井　保彦
小鼓　林　大和

笛　小寺真佐人
杉　信太朗

（地謡）　國永　典子
河村　紀仁
田茂井廣道
河村浩太郎
味方　團
河村　和貴
松野　浩行

午後四時頃　終了予定

※「翁」が始まりましたら、一階見所へのお出入りをご遠慮頂きます。
※時間はおよその目安を示しています。
※都合により出演者および演目等の変更の節はご容赦ください。

能　翁（おきな）　あらすじ

シテ　林　宗一郎

「天下泰平、国土安穏」世界の平和と万民の幸福を祈る神事能。観世流の流祖観阿弥は、この翁猿楽に演劇性を加え、今の能の基を築いた。能の原点とも言える『翁』を林定期能百周年の幕開けにして、永遠の平安を祈る。

能　日觸詣（ひむれもうで）　あらすじ

シテ　林　宗一郎

十世林喜右衛門玄忠作の神能。宇佐八幡より近江八幡の日觸八幡宮に詣でた神職に、漢織・呉織（あやはとり・くれはとり）の二人の織姫の神霊が当社の謂れを教え、やがて八幡の神霊も本体を現して御世を祝福する。林家ゆかりの曲を、当代当主が初演する。